

オペラ・ガラコンサート！

奥田瑛二のナビゲートで楽しむ不朽の名作

『みなとみらいクラシック・マチネ』の最終回は、俳優・映画監督の奥田瑛二をナビゲーターに迎え、オペラ・ガラコンサートをドラマチックに上演します。

第1部では誰もが知っている「ロミオとジュリエット」を題材にして、グノー作曲オペラ「ロミオとジュリエット」の名曲から、「私は夢に生きたい」(ソプラノ: 秦貴美子)、「ああ、太陽よ昇れ」(テノール: 城宏憲)を、豊かな声量を持つソプラノ秦貴美子とイタリアで学んだリリック・テノールの逸材 城宏憲が歌います。ドラマの展開に合わせて、プロコフィエフ作曲バレエ「ロミオとジュリエット」から名曲を、明晰なタッチに優しさや厳しさを秘めた無類のピアニスト寿明義和によるピアノで演奏します。敵対する名門に生まれたロミオとジュリエットの純粋でひたむきな愛の悲劇をドラマチックに描きます。

第2部ではオペラ「蝶々夫人」を中心にして、奥田瑛二によるナビゲートでドラマが展開されます。時は明治、長崎に寄港したアメリカ海軍士官ピンカートン(テノール: 城宏憲)は15歳の蝶々さん(ソプラノ: 秦貴美子)と仮の結婚式をする(二重唱)。そうとは知らない蝶々さんは帰国してしまったピンカートンを待ち続ける(アリア「ある晴れた日に」)。やっと現れたピンカートンには妻が。そしてピンカートンとの息子を手放し(アリア「さよなら坊や」)、自らの命を絶つ。蝶々夫人の一途であるがゆえに愛の悲劇を、寿明義和が、ブッチーニの作曲をモチーフにした、イヴァ・ミカショフ作曲「蝶々夫人の肖像」の曲を交えながら、オペラ「蝶々夫人」の世界をダイナミックに演奏します。

寿明義和(ピアノ)

Yoshikazu Jumei

ミュンヘンARD国際音楽コンクール第3位。ベルリン芸術大学ならびにイモラ国際ピアノアカデミー卒業。ソリストとしてバイエルン放送響、ベルリン響、ヤシ・モルドヴァ・フィル室内管、都響、新日フィル、日フィル、神奈フィル、九響などと協演。東京でのリサイタルはいずれも高い評価を得ている。毎日新聞では《コンサートを読む: 寿明義和とシュタイアーのシューマン◇底にある悲しみを新しい形で》と題して大きく取り上げられる(《フェルメールの楽器》に収録)。NHK-BS「びあひのピア」、横浜市招待国際ピアノ演奏会ならびにガラコンサート出演、ロンドン・ウイグモアホールにてキャノン後援3.11チャリティーとしてリサイタルを開催。全国紙《The INDEPENDENT》、《MUSICAL Opinion》誌で高い評価を得る。全日本学生音楽コンクール審査員歴任。

秦 貴美子(ソプラノ)

Kimiko Hata

東京藝術大学卒業、同大学院オペラ科修了。1997年アメリカ/ニューヨークに留学。これまでに、台湾国家戯劇院、NYリンカーンセンター、ブルガリア国立放送交響楽団、二期会、横浜みなとみらいホール主催公演、横浜シティオペラ等にて、メイチー・チェン「梧桐雨」楊貴妃、「ロミオとジュリエット」ジュリエット、「ラ・ボエーム」ミミ、「カルメン」ミカエラ/フラスキータ、「ドン・ジョヴァンニ」ドンナ・アンナ、「コジ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ、「魔笛」侍女1、ロシーニ「スターバト・マーテル」、ヴェルディ「レクイエム」等に出演。リサイタルではカーネギーホール等にて好評を博す。国内外の数々のコンクールにおいて入選、入賞。現在、フェリス学院大学音楽学部演奏科、昭和音楽大学ミュージカル科各講師。二期会、横浜シティオペラ各会員。

城 宏憲(テノール)

Hironori Jo

東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。平成22年度文化庁新進芸術家海外研修制度にてイタリア・ジェノヴァへ留学。第42回イタリア声楽コンクール・シエナ大賞、第84回日本音楽コンクール声楽部門第1位並びに岩谷賞等、受賞多数。『カルメン』ドン・ホセ、『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『トゥーランドット』カラフ等のプリモ・テノール諸役を主要レパートリーとする。2016年には、東京二期会『イル・トロヴァトーレ』にて急病の出演者に代わり表題役マンリーコを歌い二期会デビュー。17年2月『トスカ』カヴァラドッシ、18年3月『ノルマ』ポッリオーネ役などの大舞台への抜擢、テレビ朝日『題名の無い音楽会』における名アリア「誰も寝てはならぬ」の見事な演奏など、近年の絶え間ない活躍にて日本オペラ界の「次世代を担うテノール」という評価を確立した。二期会会員。

奥田瑛二(ナビゲーター)

Eiji Okuda

俳優・映画監督。1979年、につかつ『もっとなやかに もったしたたかに』(藤田敏八監督)で主役に抜擢され、頭角を表わす。『海と毒薬』(熊井啓監督86年)で毎日映画コンクール 男優主演賞、『千利休・本坊坊遺文』(熊井啓監督89年)で日本アカデミー主演男優賞、『棒の哀しみ』(神代辰巳監督94年)ではキネマ旬報、ブルーリボン賞など9つの主演男優賞を受賞する。映画『少女～an adolescent』(2001年)を初監督。同作はヴェネチア映画祭他多くの映画祭から招待を受け、第17回パリ映画祭、第16回AFI映画祭でグランプリを受賞。以降『るにん』『長い散歩』『風の外側』と作品を送りだし、『長い散歩』(06年)は第30回モントリオール世界映画祭グランプリ・国際批評家連盟賞・エキュメニク賞の三冠を受賞。09年同映画祭の審査員を務める。監督最新作『今日子と修一の場合』(安藤サクラ・柄本佑主演13年)が全国劇場で順次公開中。



横浜市招待国際ピアノ演奏会

横浜で30年以上の歴史を誇る若手ピアニストの登竜門。35歳以下かつ国際コンクールで入賞歴のあるピアニストの中から、将来を嘱望される才能を

掘し、横浜から紹介してきました。今年度の「みなとみらいクラシック・マチネ」では「横浜市招待国際ピアノ演奏会」に出演歴のあるピアニストを揃えました。寿明義和は第25回(2006年11月3日)に出演し、ラフマニノフの演奏で多くのお客様を魅了しました。

- 公演当日、当日券受付は混雑が予想されます。チケットは事前にお買い求めいただけますよう、お願いいたします。
- やむを得ぬ事情により、出演者や曲目など内容に変更が生じる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 車椅子でお越しのお客様はご案内の都合上、あらかじめホールチケットセンター(045-682-2000)にお問合せください。
- チケットは如何なる場合(紛失・盗難・破損等)も再発行いたしません。
- お買い求めいただいたチケットは公演中止の場合を除き、変更・払い戻しはいたしません。
- 公演中止の場合に、旅費等の補償はできません。チケット券面額以外は一切ご返金できません。

Miraist Clubのご案内

Miraist Club(みらいすとクラブ)会員はホール主催公演などのチケットの割引、先行発売のサービスはもちろん、魅力的な特典をお楽しみいただけます。

Miraist Club事務局 045-682-2025 (10:00~17:00)

交通のご案内

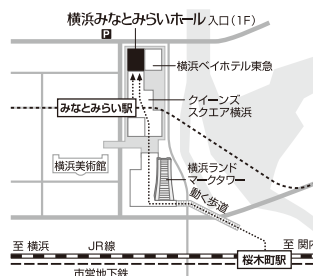
- みなとみらい駅(東急東横線直通みなとみらい線)下車、徒歩3分。「クイーンズスクエア横浜連絡口」改札(地下3階)より左方向。クイーンズスクエア横浜内の吹き抜けエスカレーター(赤)を1階まで上がり左方向、クイーンモール左奥。
- 桜木町駅(JR京浜東北線・根岸線/横浜市営地下鉄)下車、徒歩12分。みなとみらい方面の「動く歩道」から、ランドマークプラザ経由(3階から1階へ)でクイーンズスクエア横浜、クイーンモール左奥。

託児サービス

生後6ヶ月から小学生までのお子様をお預かりする託児サービスがございます。予約制:先着10名様・お一人様2,100円(税別)。公演の3ヶ月前から5日前までの予約受付。

【お問合せ・ご予約】株式会社 明日香 0120-165-115

通話料無料で携帯電話・PHSからもご利用いただけます。※フリーダイヤルがつかない場合03-6912-2125(通話料有料)(月~金:9:00~17:00 土:9:00~12:00 日・祝休)



横浜みなとみらいホール 〒220-0012横浜市西区みなとみらい2-3-6 TEL:045-682-2020 FAX:045-682-2023

【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】 <http://www.yaf.or.jp/mmh/index.php> @yokohamammh